



若竹だより

【巻頭言】

地球は動いていた！

—天体望遠鏡の寄贈を受けて—

園長 野田大燈

学園の役員をして下さっているO会長様のお口添えで香川の天体望遠鏡博物館館長村山様より経口約25分の天体望遠鏡贈呈式が仮博物館で行われました。

学園からマイクロバスで約20名の園生と職員数名が付き添って出発しましたが、何分にもヘアピンカーブの多い山道ですので途中から数名が車酔いです。それでも到着すると元気になって贈呈式会場に…。

村山館長さんは幼い頃から天体に興味を持たれ中学生のころに土星や木星の美しさに魅入られて天体観測を続けて来られたそうです。

それだけに、訪れた小中学生の園生を大歓迎で迎えて下さいました。

訪問しました場所は仮に収納してある大きな倉庫でしたが、様々なタイプの天体望遠鏡が百数種類も置いてあるのに驚かされました。

地方自治体の中では財政難から観測所を閉鎖する所もあることから、処分される物を何とか保存したいと考えた結果として、全国から不要になっている天体望遠鏡を収集することになったそうです。

20余人の園生のために、当日は職員の方も含めて7~8名のスタッフの方が説明に当たって下さいました。

当日は雪交じりの天候でしたので「贈呈式に

行つての帰りに雪になったらどうするか…」と言う事も考慮しての出発でしたが、幸いにも木星が肉視できる状態に天候が回復しましたので、寄贈頂ける望遠鏡の扱い方を中心に、様々な天体望遠鏡で観察させて頂きました。

望遠鏡が手動式だったために、焦点を定めていても時間の経過とともにズレが生じて来ます。「あーっ、地球が動いている！」D君の大きな声で笑いがおこりましたが、手動の天体観測器だからこそその大切な体感でした。

A君が「僕は天体観測が大好きで、先日も母が天体の本を送ってくれました」とのこと。

即座に言いました「じゃあ、若竹学園に天体観測クラブを作ろうよ。そしてA君が中心になって活動しよう…」

翌日の朝、A君が私の袖を引っ張って「園長、昨日の話、どうなるの？」と少し不安そうでしたが嬉しそうに話しかけてくれました。

「鉄は熱いうちに打て」の諺もありますので、早急に若竹学園天体観測クラブを設立するよう、職員も含めて進めたいと思います。

天体望遠鏡の寄贈が因となって、A君を中心として園生たちが更に宇宙に・星に・望遠鏡に興味を深めることによって今までとは異なった生き方が見いだせられたら、と願っています。

そして将来、彼等が望むなら「村山館長さん、寄贈頂きました望遠鏡が縁で人が育ちました。彼を雇ってください」とお願い出来たら、館長さんも喜んで下さるでしょう。

—了—

若竹学級たより

3 学期が始まりました！

約 2 週間の冬休みを終え、1 月 8 日から生徒たちは元気に登校しています。冬休みは、年越しや初詣など、それぞれが充実した時間を過ごせたようです。また、粉雪が舞う非常に寒い日が続く中、生徒たちは活発に活動しています。

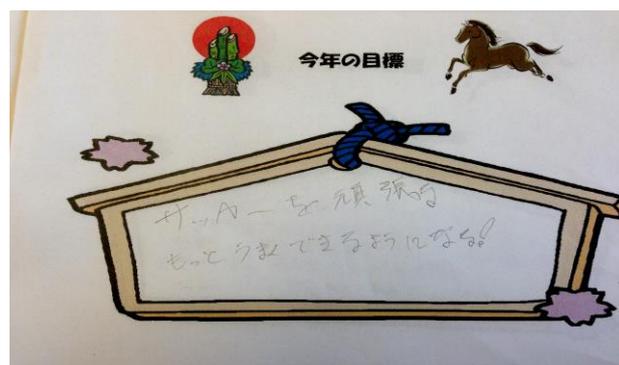
3 学期は、登校日数が 5 5 日間と短い期間です。それぞれが学年のまとめを行い、体調管理には十分気を付け、元気に過ごせるようにしていきたいと思っています。

★ 2014 年の抱負 ★

2014 年を迎え、今年の抱負をワークシートの絵馬に書きました。生徒たちは、今年がんばりたいことや、達成したい目標などを考えながら、とてもよい表情で取り組んでいました。



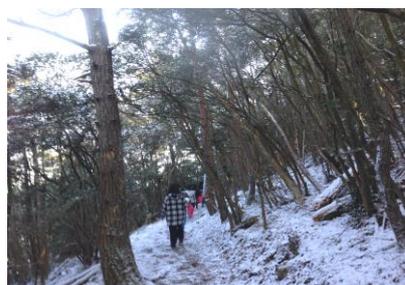
今年一年を健康で元気に過ごしたい、受験に向けて勉強を頑張りたい、得意なスポーツを頑張りたいなど様々な願いがあり、また、抱負が一つではなく、たくさん書いている生徒もいました。生徒たちの抱負を見て、強い決意と一人ひとりの成長を感じました。



今年は午年ということで、馬のように軽やかにかっこよく駆け抜けて欲しいと思います。生徒たちの願いが叶うことを祈ると同時に、全力でサポートしていきたいと思っています。

雪遊びをしました。

1 月 22 日、若竹学園に雪が積もり、フィールドワークに出かけました。久しぶりに積もった雪に生徒たちは寒さを忘れ、元気に活動しました。



フィールドワークに出かける前から生徒たちはテンションが高く、

「雪合戦をしよう」「雪だるまを作りたい」と話す生徒が多くいました。それぞれソリを使って坂道を滑ったり、雪をかき集め大きな雪だるまを作る中、雪合戦をする生徒が一番多く見受けられました。

また、印象的だったのは目を閉じて、太い木の枝で大きな雪の玉を割る「雪割り」です。雪と木の枝を使って「すいか割り」と同じことをしようとする生徒たちのアイディアにとっても感心しました。

こうした自然と



深く関わりあって活動出来るのも若竹学園ならではのことで、昼前には雪のほとんどが溶けてしまいましたが、良い活動ができたと思います。

12 月 28 日に毎年恒例の餅つきを行いました。臼と杵を使っての餅つきが初めての子どもも多く、興味津々に楽しそうに餅つきをしていました。



きれいに丸められました！

きれいに餅を丸めるのが難しく「どうしたらうまく丸まるの？」と職員に尋ねながら頑張っている子どももいました。

お餅はきな粉や砂糖醤油、あん餅雑煮、おすましの雑煮と様々な味で楽しみました。

カラオケ

12 月 31 日に子どもの希望でカラオケに出かけました。今年最後のお楽しみ会です。子どもたちもワクワクしていました。

カラオケに着くと男女別々の部屋に分かれ、まずは飲み物、食べ物の注文です。コーラ、オレンジジュース、中には栄養ドリンクを注文する子どももいました。チキンナゲットやフライドポテトが運ばれてくると歌声もパワーアップ！！

カラオケの後は温泉に行きました。お客さんは多かったのですが、広い湯船にゆったりとつかり、時間が経つのも忘れたようにお風呂に入っていました。

身も心もすっきりとなり、新しい年 2014 年を迎える準備ができ、学園に帰ってきました。

初詣 & 夕食作り

新年、白峰神社に初詣に行き「良い一年になるように」とみんなでお参りをしました。その後、子ども達は園長先生から頂いたお年玉で欲しいものを買いに外出に出かけました。外出先では、買い物をしながらはしゃぐ子ども達をみていると職員も嬉しくなりました。

子ども達の提案で夕食は、お好み焼をみんなで作ることにになりました。買い出しの時、「お好み焼に何を入れようか？」「キャベツってどれくらい買ったらいい？」など、子ども同士で相談しながら楽しく食材を選んでいました。キャベツやお肉を切り、味付けをして自分たちで作ったお好み焼は、格別おいしかったのかすぐに完食してしまいました。

外食

1 月 2 日にイオンモールへ外食に行きました。子ども達は、久しぶりの外食で、行く前からウキウキで何を食べようかとテンションが上がっていました。年始ということもあって、人の多さに驚かされましたがみんな落ち着いて行動が出来ており、自分達の食べたい物をお腹一杯食べて満足していました。

アロマハンドクリーム作り

小・中学生女兒でアロマオイルを入れたハンドクリーム作りを行いました。大半の園生がグレープフルーツ・オレンジスイートを選びました。選んだ理由やにおいを嗅いだ感想として、ストレスやイライラが解消されるよう・癒されるなどの話がありました。完成品に満足しており、今後アロマを使った工作やお菓子作りがあれば、是非参加したいとのことでした。

作り方は、①
蜜蝋と林ハイル
を混ぜて湯
銭でとかし、
容器に移す。
②かき混ぜて
周りが白くな
ったらアロマ
オイルを 2,3 滴入れる。③つまようじで混ぜ
て、固まるまで 20 分ほど待つ。



1 が 行事

- 1 日 初詣、外出、夕食作り
- 2 日 夕食
- 7 日 アロマハンドクリーム作り
- 8 日 始業式
- 11 日 太鼓、図書館
- 16 日 買物学習
- 18 日 天体望遠鏡贈呈式
- 25 日 図書館、うどん作り
- 26 日 うどん作り

天体望遠鏡贈呈式

1 月 18 日に、白鳥で行われた天体望遠鏡贈呈式に全員で参加しました。

当日天気が悪く天体観測はできないと思っ
ていましたが、天気も徐々によくなり、綺麗
な木星を見ることができました。

子どもたちは、初めて見る木星に感動し、
何回も望遠鏡を覗いていました。

また、スタッフの人たちが親切に色々な事



を覚えて
くれたり、
子どもた
ちも質問
したりと
勉強にな
りました。
次は、五
色台の山
の上から

の天体観測を楽しみたいです。

～御寄附ありがとうございました～

- 天体博物館館長 村山様 天体望遠鏡
- 齊藤早佑理様 衣類・漫画

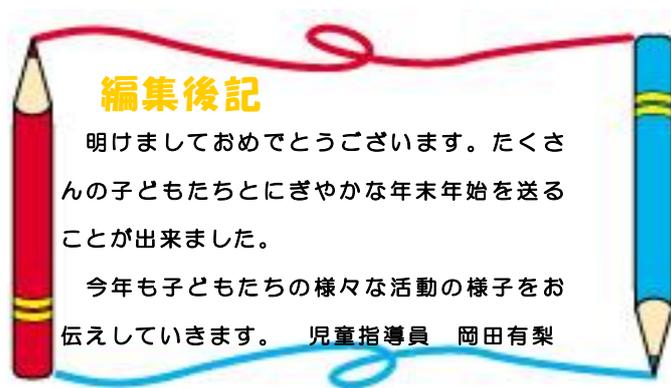


外来子ども相談

子育てに関する悩み・不安などを専門スタ
ッフがご相談をお受けします。ご家族や学校
関係のみのご相談も受け付けております。相
談は無料です。予約制になっておりますので、
まずはお電話にてご連絡にてご連絡ください。
月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 5 時

電話 : 0 8 7 - 8 8 2 - 1 0 0 0

秘密は厳守します。



編集後記

明けましておめでとうございます。たくさ
んの子どもたちにとぎやかな年末年始を送る
ことが出来ました。

今年も子どもたちの様々な活動の様子をお
伝えしていきます。 児童指導員 岡田有梨

第 240 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>
Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp
編集兼発行者 若竹学園 編集委員
発行責任者 野田 大燈